

# 障害福祉施策の充実をもとめる 国会請願署名にご協力ください

この国会請願署名・募金運動には、障害のある方、家族、障害者福祉事業所で働く職員などの生活と権利を守りたいという、たくさんの方が願いが込められています。

請願内容は、以下のとおりです。

請願項目1、中央省庁による障害者雇用の水増し問題を究明するとともに、障害のある人の働く場をひろげ、必要な支援等を制度として確立してください。

請願項目2、障害年金を安心して生活できる水準まで引き上げるとともに、希望する暮らしを支える制度（グループホームやヘルパー制度など）を拡充してください。

請願項目3、障がいがある人が65歳を超えても必要とする制度を自ら選んで使えるよう、介護保険優先原則を廃止してください。

請願項目4、地域活動支援センターが安定した運営ができるよう国の責任で実態を調査して、制度を拡充してください。

請願項目5、事業所の深刻な人手不足の解決に向けて、働く職員の労働条件を引き上げるために報酬制度を抜本的に改善してください。

きょうざれん愛知支部（通称あいざれん）では、中西ブロックの活動として昨年の12月7日（金）に金山総合駅北口にて「がん

ばるデイ（街頭宣伝）をおこないました。

「給料が少なく、将来が不安です」「ヘルパーが少なくて自由

にお出かけできません。」

「職員やヘルパーを募集しても応募がなくて、福祉現場の人手不足が深刻です。」

「障害がある人の暮らしやすい街は、どんな人も暮らしやすいことにつながると思うので、この国会請願の運動を頑張りたい。」

参加したみんなが緊張しながらも自分たちの願いや困っていることをマラソンスピーチで訴えて、署名・募金をお願いをしました。

この日にとりくみでは、84名の参加で、135筆の署名と7,265円の募金が集まりました。たくさんのご協力ありがとうございました。

第42次国会請願署名・募金運動は、集まった署名を持って国会議員に要請する5月までつづけます。

厳しい情勢ですが、引き続き多くの人と協力して署名・募金運動に取り組んでいきたいと思えます。

（ネットワークみなと 川又宏樹）



## みなと福祉会家族連合会だより 桜木授産所に見学に行ってきました

11月27日（火）に総勢15名で、名古屋市西区の桜木授産所に出かけました。歴史は古く、昭和57年に開所したそうです。地域にある製菓工場からの仕事ということで「ガムの袋詰め作業」とりくんできました。利用者さんたちは、職員の作った道具（箱の絵柄のわかる）に合わせてガムを種類別に袋詰めしていました。見学した時期は、特にクリスマス用ということで注文が多かったようでした。みんなが落ち着いて、手際よく仕事をしていました。利用者は、18歳から76歳までの80名。比較的障害の軽い人が多いように感じました。工賃は、全員が17,000円との事でびっくりでした。家族会には、全員が加入していて会への出席状況もいいそうです。行事では、旅行に利用者・職員とともに家族の方も参加されているとの事でした。事業所によっていろいろと違いがあると感じました。

これからも家族連合会として、みなと福祉会の役員や職員たちと協力して頑張ろうと思えました。見学後、トヨタ産業技術記念館内のレストランでランチ交流をして帰路につきました。

（家族連合会 水谷英子）



## 編集後記

今回の特集は、「仲間たちをささえる人たち」です。仲間をささえる「縁の下の力持ち」な方々を取り上げました。「縁の下の力持ち」とは言え仲間たちだけでなく、私たちにとってもなくてはならない存在です。あらためて、この場をお借りしてお礼申し上げます。

1月には、成人の日がありました。大人の仲間入りをしたみなさま、おめでとうございます。みなさまのこれからの明るい未来と、ご多幸をお祈りいたします。

新年号の発行にあたり、ご協力いただいたみなさま、誠にありがとうございました。次回のみなと福祉会報もお楽しみに。

（中神昌也）

## 新春のごあいさつ

港区障害者児とともに育つ会 会長 磯崎明美

今年が猪の年、「猪突猛進」と突っ走る人を例える人もいます。私自身の人生が前半は、これが私の人生なのかと思つとめまぐるしい忙しさに追いまくられたように思えます。夫は20才の時「ご臨終です」と宣告され息を引き取ったそうです。

しかし数分後、息を吹き返し私と結婚することになり度々の入退院を繰り返すことになるのです。

次男が障害を持って生まれ、又、難病で入退院の繰り返し。でも、この2人の介護で私はたくましく生かされ、障害者運動を始めたのです。

昨年12月15日、第41回の「障害者(児)のための合同クリスマス会」を開催、最初は旧港保健所で開催、その後、人数が増え、旧港区役所に移り更に人数が拡大し、今の港区役所が新築された時、更に会場を変えることになりました。



次男の46才の誕生日「この子がいたから」

こんな楽しい行事ばかりでなく運動をすすめる中で悲しい事件にいくつも遭遇し、仲間と手をつなぎ学習するようになったのです。ある方が「困難を抱えている人に心を寄せる」という言葉を書いておられ

たのですが、私は常にその事を心がけ、それを運動に取り込むようにして来たつもりです。今も、そうしているつもりです。もちろん最初は、「我が子の困難を何とかしたい」から始まり、我が子の困難を解決するだけでは世の中は変わらない事を知り、多くの仲間とつながって運動を展開してきたと思います。

ある詩人が「無駄な経験なんて何も無い、今までのすべての出来事が今のあなたを作っているのだから人はとどまることなく変化しつづけている。どんな事を考え生きてきたか、生きていくか、何を憤っているか、何を悲しんでいるか、どんなことであれ目先の情報に惑わされるな」と。そして生きていく限り、どんな年令であろうと、常に新しい瞬間を迎えていると。明日、何が起きるかドキドキした気持ちで迎えられる自分であることが素敵だと言っています。

相模原のやまゆり事件や旧優生保護法の問題、障害者雇用率の行政による水増し問題と、障害者や家族関係者にとって悲しさや腹の立つ問題ばかり続いています。消費税を10%に増税するという、最初は福祉のためという導入されたものが、企業とお金持ちの負担の穴埋めにされ、ますます貧困の格差が生まれるなか私たちは今何ができるか、やっぱり社会運動でしょう。その事に何のためらいもなく、私は多くの仲間の声を聞きながら、家族とともに今年も地道に頑張るつもりです。

本年も、ぜひごまろしくお願ひごまわ。

## 第41回 港区障害者(児)合同クリスマス会 が300名近い参加者で盛大に開催

《2018年12月15日(土)午後1時～港区役所講堂にて開催》

「みんなのクリスマス会」をテーマに、様々な人々による手作りのクリスマス会になりました。公職者の方々をはじめ多数の来賓の皆様にも参加していただき、港区区民福祉部長・下村卓也様には今年もサンタクロース役を担っていただきました。

また、今年もたくさんの商品の寄贈、ご寄付も賜り心より感謝いたします。本当にありがとうございました。



### 《商品の寄贈団体様》

- ・ユニー株式会社ポートウォークみなと店様
- ・イオンモール名古屋みなと店様 ・名古屋ヤクルト販売様
- ・日本製粉株式会社様 ・日清製粉プレミックス株式会社様

### 《ご寄付》

- ・港区女性団体連絡協議会様 ・名古屋みなとライオンズクラブ様

### 《協力団体様》

- ・御諏訪太鼓保存会 高阪道場様 ・メリリブラスクインテット様
- ・川合大正琴 ひまわり様

## 名古屋市港区との懇談会



2018年11月28日に港区との懇談会を行いました。毎年実施しており、今年で実に18回目となりました。当日は港区から地域力推進室長、福祉課長、総務課の皆さまのご出席を頂きました。ともに育つ会は、磯崎会長をはじめ、みなと福祉会の各事業所の仲間、家族、職員21名参加で臨みました。短期入所の充実や、福祉避難所の充実、放課後等デイサービスの名古屋市の聞き取り調査の実施等を求めました。障害者のヘルプカードの改善について前向きに上申したいと回答を頂きました。